

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成26年5月7日
【四半期会計期間】	第52期第3四半期（自平成26年1月1日至平成26年3月31日）
【会社名】	株式会社アクシーズ
【英訳名】	XYZ Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々倉 豊
【本店の所在の場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【最寄りの連絡場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第3四半期連結 累計期間	第52期 第3四半期連結 累計期間	第51期
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成25年 3月31日	自平成25年 7月1日 至平成26年 3月31日	自平成24年 7月1日 至平成25年 6月30日
売上高(千円)	11,229,074	11,737,410	14,792,334
経常利益(千円)	326,796	448,038	410,009
四半期(当期)純利益(千円)	226,956	319,399	260,952
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	254,185	308,499	292,612
純資産額(千円)	6,243,588	6,520,314	6,282,016
総資産額(千円)	8,864,501	8,451,676	8,129,803
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	40.41	56.87	46.47
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	70.4	77.1	77.3

回次	第51期 第3四半期連結 会計期間	第52期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 3月31日	自平成26年 1月1日 至平成26年 3月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	6.74	29.80

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊迫感を増すウクライナ情勢や新興国の経済成長の鈍化、4月以降の消費税率の引き上げによる個人消費の低迷等が懸念されるものの、政府の経済政策や日銀の金融緩和策により円安や株高基調が進むなど、景気は緩やかな回復基調で推移しております。

鶏肉業界におきましては、円安進行等による輸入穀物価格や燃料費の高騰に加え、電気料金の値上げもあったことから、生産コストの上昇が継続しております。また、消費者の節約・低価格志向が続き、消費動向は依然として厳しい状況が続いております。しかしながら、国内・輸入鶏肉在庫は依然として低水準で推移していること等により、国内鶏肉相場は強含みに推移いたしました。また、消費者の安全・安心に対する関心がより一層高まっており、品質管理の更なる強化が求められております。

こうしたなか、当社グループの業績は、売上高は117億37百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。利益面につきましては、営業利益3億81百万円（前年同四半期比59.2%増）、経常利益4億48百万円（同37.1%増）となり、四半期純利益は3億19百万円（同40.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

鶏肉関連

鶏肉関連事業におきましては、鶏肉価格は前期に比べ堅調に推移しておりますが、飼料、燃料価格及び電気料金に加え物流コスト等が大幅に上昇しており、売上総利益率は引き続き低下しております。増益要因としましては、内部の事業運営改善によるものが大きく、特に生産部門と製造部門において生産性の大幅な改善が寄与いたしました。この結果、売上高は97億25百万円（前年同四半期比7.2%増）、セグメント利益は2億19百万円（同179.6%増）となりました。

外食

外食事業におきましては、個人消費の低迷や外食産業の競争激化に伴い販売が伸び悩んだものの、継続的にコスト削減に努めた結果、売上高は20億12百万円（前年同四半期比6.8%減）、セグメント利益は1億59百万円（同0.6%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ3億21百万円増加し、84億51百万円となりました。これは主に、工具、器具及び備品が3億43百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ83百万円増加し、19億31百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1億9百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億38百万円増加し、65億20百万円となりました。これは、利益剰余金が2億49百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は、82百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,350,000
計	19,350,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年5月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,617,500	5,617,500	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 (100株)
計	5,617,500	5,617,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年1月1 日~ 平成26年3月31日	-	5,617,500	-	452,370	-	428,340

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,615,700	56,157	-
単元未満株式	普通株式 400	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,617,500	-	-
総株主の議決権	-	56,157	-

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アクシーズ	鹿児島市草牟田二丁目1番8号	1,400	-	1,400	0.02
計	-	1,400	-	1,400	0.02

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	774,676	727,742
受取手形及び売掛金	1,108,038	1,250,436
製品	162,461	255,752
仕掛品	204,259	259,410
原材料及び貯蔵品	595,346	607,930
その他	694,672	347,042
貸倒引当金	432	415
流動資産合計	3,539,021	3,447,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	347,337	440,847
工具、器具及び備品(純額)	521,941	865,588
土地	2,765,637	2,767,923
その他(純額)	96,714	191,104
有形固定資産合計	3,731,630	4,265,464
無形固定資産	18,668	8,080
投資その他の資産		
投資その他の資産	842,789	732,019
貸倒引当金	2,306	1,787
投資その他の資産合計	840,483	730,232
固定資産合計	4,590,782	5,003,776
資産合計	8,129,803	8,451,676
負債の部		
流動負債		
買掛金	384,427	277,383
短期借入金	-	10,000
未払金	934,121	931,980
未払法人税等	31,712	141,256
賞与引当金	-	79,263
その他	106,105	105,785
流動負債合計	1,456,366	1,545,668
固定負債		
社債	40,800	40,800
退職給付引当金	193,175	182,298
役員退職慰労引当金	104,718	109,158
その他	52,727	53,435
固定負債合計	391,421	385,693
負債合計	1,847,787	1,931,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	5,331,956	5,581,155
自己株式	1,087	1,087
株主資本合計	6,211,578	6,460,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,437	59,536
その他の包括利益累計額合計	70,437	59,536
純資産合計	6,282,016	6,520,314
負債純資産合計	8,129,803	8,451,676

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	11,229,074	11,737,410
売上原価	8,055,948	8,498,395
売上総利益	3,173,126	3,239,015
販売費及び一般管理費	2,933,345	2,857,201
営業利益	239,781	381,813
営業外収益		
受取利息	2,317	3,094
受取配当金	2,253	2,383
持分法による投資利益	47,303	3,931
為替差益	11,600	14,750
受取家賃	17,399	20,627
その他	15,015	23,111
営業外収益合計	95,891	67,899
営業外費用		
支払利息	5,653	1,426
その他	3,222	247
営業外費用合計	8,875	1,674
経常利益	326,796	448,038
特別利益		
固定資産売却益	-	2,976
投資有価証券売却益	-	27,294
補助金収入	-	19,233
受取保険金	56,098	-
特別利益合計	56,098	49,504
特別損失		
固定資産除却損	-	3,539
固定資産圧縮損	44,918	19,233
災害による損失	5,384	-
特別損失合計	50,302	22,772
税金等調整前四半期純利益	332,592	474,770
法人税、住民税及び事業税	145,242	195,660
法人税等調整額	39,605	40,290
法人税等合計	105,636	155,370
少数株主損益調整前四半期純利益	226,956	319,399
四半期純利益	226,956	319,399

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	226,956	319,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,229	10,900
その他の包括利益合計	27,229	10,900
四半期包括利益	254,185	308,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,185	308,499

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
減価償却費	197,266千円	249,373千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月21日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成24年6月30日	平成24年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)

配当に関する事項

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月20日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成25年6月30日	平成25年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,069,767	2,159,306	11,229,074	-	11,229,074
セグメント間の内部売上高又は振替高	116	-	116	116	-
計	9,069,884	2,159,306	11,229,190	116	11,229,074
セグメント利益	78,556	158,837	237,393	2,387	239,781

(注)1. セグメント利益の調整額2,387千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,725,043	2,012,367	11,737,410	-	11,737,410
セグメント間の内部売上高又は振替高	232	-	232	232	-
計	9,725,275	2,012,367	11,737,642	232	11,737,410
セグメント利益	219,627	159,865	379,492	2,321	381,813

(注)1. セグメント利益の調整額2,321千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	40円41銭	56円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	226,956	319,399
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	226,956	319,399
普通株式の期中平均株式数(株)	5,616,060	5,616,060

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 5月 2日

株式会社アクシーズ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川畑 秀二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アクシーズの平成25年7月1日から平成26年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アクシーズ及び連結子会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。